

ゴ-ゴ- 5×5ビンゴ



ビッグシート



サンド・レッド



はじめに

「5×5ビンゴ」は栗東市体育指導委員が平成10年に考案したスローイングビンゴをベースにしたニュースポーツです。
平成18年12月に阪神北地区体育指導委員実技講習会ではじめてスローイングビンゴを経験した伊丹市スポーツ推進委員によって、用具に若干の変更が加えられ、「5×5ビンゴ」としてコミュニティスポーツ・多世代交流スポーツとして普及が目指されています。

○ 標準用具

※受注生産となり製作に3週間程度かかる場合があります。

① サンド・レッド(専用投球袋 重さ330~350g)

※袋の色は2色(水色・黄色)×12個+ビュット1個(銀色=目標袋)

※ナイロンオックス製の袋に砂を入れ、ひもでくられています。

② ビッグシート(5m×5m)

※ひとマスが1メートル四方で赤と青の交互の配色になっている1から25までの番号が印刷されたナイロンタフタ製のシートです。

○ コート

コートはビッグシートを床面に貼り付けるだけです。(手前は完全固定する。)なお、スローイングサークル(直径0.8mから1.5m円形)からビッグシートまでの距離は8メートルです。

※年齢により距離を縮めるなど工夫してください。

○ ルール

ジャパンスローイングビンゴ協会(承認済み)の競技規則に準じます。

問合せ先

伊丹市教育委員会事務局 生涯学習部スポーツ振興課 (電話:072-784-8088)

5×5(ゴーゴー)ビンゴ競技規則

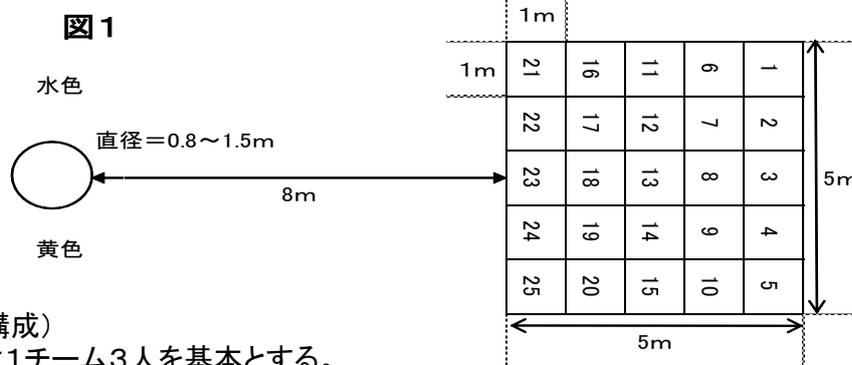
令和6年5月改正

第1条 (用具)

- 1 サンド・レッド(専用投球袋)は水色・黄色2色をそれぞれ12個使用し、サンド・レッド1個の重さは、約330~350gとする。
- 2 ビュット(目標袋)は銀色とし、重さは約330~350gとする。

第2条 (コート)* 図1参照

- 1 的となる方眼は一辺を1mとし、縦横5個、計25個とする。
- 2 方眼から後方8mの位置にスローイングサークルをとる。ただし参加者の実態にあわせて、方眼までの距離を変更することは可能である。
- 3 スローイングサークルは直径0.8m~1.5mの円形とする。ただし参加者の実態にあわせて、スローイングサークルの大きさをかえることは可能。
- 4 コートに向かってサークルの左側が水色、右側が黄色とする。



第3条 (チームの構成)

- 1 チーム編成は1チーム3人を基本とする。
- 2 参加者の状況に応じて、6人对6人、12人对12人等の対戦も可能とする。

第4条 (投球方法)

- 1 投球フォームは自由とするが、必ずサンド・レッド、ビュットのひもに指をかけなければならない。
- 2 サンド・レッド、ビュットが着地するまで、投球者はスローイングエリアから出てはいけない。
- 3 投球方法に違反があった場合は、その投球は無効とし、審判より注意を与える。次回以降、繰り返された場合はその投球を無効として投げられたサンドレッドを取り除く。その際に動かされたサンドレッド・ビュットは元の位置に戻す。

第5条 (ゲームの進め方)

- 1 対戦チーム代表者のジャンケンに勝った方を先攻とし、水色サンドレッドとする。
1投目の選手がビュットを投げる。ビュットは2回まで投げる事ができる。ただし、失敗したら先攻と後攻を交代する。両チーム失敗の場合は、ビュットによるボーナスポイントは無しとする。
- 2 その後、先攻チームの1番目の選手(ビュットを投げた選手)から交互にサンド・レッドを投球する。
- 3 縦・横・ななめいずれかに同色のサンド・レッドが並んだ時点(ビンゴ成立)でゲームは終了しそのチームに10点を与える。後攻のチームにリーチがかかっているときは、次の一投のみ認める。ただし、後攻チームの投球後に先攻チームのサンドレッドが移動したことにより、ビンゴ解除になった場合はゲームを続行する。
- 4 ビンゴの列の中にビュットが含まれている場合は、ボーナスポイントとしてさらに5点を与える。ただし、ビュットが外へ出た場合、ボーナスポイントは無くなる。
- 5 各チーム12個のサンド・レッドを投げ終えてもビンゴが成立していないときのみ、4つ並んでいる状態(リーチ)があればリーチ1列につき3点を与える。
(1列につき3点なので、ダブルリーチで6点、トリプルリーチで9点となる)
- 6 同一マスに両チームのサンド・レッドが入った場合、両チームに有効なポイントとなるが、同色のサンド・レッドが2個以上入ってもポイントは変わらない。
- 7 投げたサンド・レッドがマスを仕切るライン上に停止したときは審判の判断により、どのマスに入ったかを決定する。判断がつかない場合は、同一競技者による再投もありえる。(再投の場合は動かされたサンド・レッドは、元の位置にもどす)
- 8 投げたサンド・レッドが当たって動いたサンド・レッドやビュットは、元の位置に戻すことはできない。ただし、ラインの中心に移動した場合は、試合終了時に中心への移動前の位置にして判定する。
- 9 1セット終了し、次のセットは負けたチームが先攻となる。1セット目が同点の場合も先攻と後攻が入れ替わる。

第6条 勝敗の決定

- 1 1ゲームは3セットまでとし、総合得点で勝敗を決定する。
- 2 その他順位の決定などは大会の規則による。

第7条 審判の権限

- 1 試合中、競技規則に記載されていない事象が発生した場合は、すべてそのゲームの審判の判断により決定する。

※下線部は、ジャパンスローイングビンゴ協会競技規則より5×5ビンゴ用に変更している部分です。